



平成27年2月4日

各位

上場会社 日本ギア工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 勝村 哲
(コード番号 6356 東証2部)
問合せ責任者 常務取締役 伊藤 政夫
(TEL 0466-45-2100)

株主による臨時株主総会の開催日時等に関するお知らせ

平成26年12月29日付「臨時株主総会招集許可決定に関するお知らせ」で開示いたしました通り、当社は横浜地方裁判所より、当社の株主である株式会社成和、寺田治夫氏、丸本桂三氏（以下「当該株主」といいます。）による臨時株主総会の招集許可決定を受けております。

本日当社は、当該株主より臨時株主総会招集通知を受領したことにより、開催日時、開催場所及び付議議案を確認いたしましたので、当社の意見と共に下記の通りお知らせいたします。

記

1. 臨時株主総会について

(1) 臨時株主総会開催日時

平成27年2月19日（木曜日）午前10時

(2) 臨時株主総会開催場所

神奈川県藤沢市藤沢607-1 藤沢商工会議所内 5階
藤沢商工会館ミナパーク 502会議室

(3) 臨時株主総会付議議案

決議事項

第1号議案 取締役勝村哲解任の件

取締役勝村哲は、代表取締役として、日本ギア工業株式会社を巡る厳しい経営環境を直視せず、顕著な業績低迷状況にもかかわらず経営改革を先延ばしし、また、今後の経営に関する中長期的な具体的施策等の視点も欠落しているためであります。

第2号議案 取締役加賀田伊作解任の件

取締役加賀田伊作は、日本ギア工業株式会社の営業部長兼横浜支店長であるところ、経営状況の認識及び経営改革への熱意に欠け、取締役加賀田伊作の現状の営業方法では、大幅な営業力の強化は期待できないためであります。

第3号議案 取締役3名選任の件

日本ギア工業株式会社の速やかな経営改革への着手及び改革実現のため、解任取締役の後任者として取締役3名（寺田治夫氏、丸本桂三氏、林秀樹氏）の選任をお願いするものであります。

本日発送の「臨時株主総会招集のご通知」を株主側代理人より、送付を受け開示するよう依頼がありましたので、添付いたします。

2. 当社の意見

(1)第1号議案 取締役勝村哲解任に反対します。

当社は、日本国内、アジアを主な市場とし、創業 77 周年を迎える製造会社です。

勝村哲は、平成 24 年 4 月に社長に就任、東日本大震災で経営環境が一変する中、経営方針として製品の付加価値を追求することで、利益重視の経営を目指しています。その結果、平成 16 年度から平成 25 年度まで 10 期連続で黒字経営を継続しており、また平成 26 年度の経常利益は当初計画通り推移する見通しです。

当社は、歯車を原点とした歯車装置メーカーです。経営環境の変化に合わせて、製品販売だけでなく、製品の保守業務である工事業に力を注いできました。当社製品は、発電所、上下水道設備、石油プラント等のインフラに使用されることが多く、バルブコントロール装置、攪拌装置など、歯車技術を基礎とする高い専門性と品質が求められます。お客様のご要望に合わせた製品の供給と、お客様への手厚い保守体制を構築し、当社ブランドへの信頼を獲得できたことが当社の強みです。その結果、安定した収益構造を構築し、継続しております。

バルブコントロール装置等の組立製品においては、製品の改善改良はもちろん新機種の開発にも力を入れ、新製品に必要な電気、電子技術の導入にも取り組み顧客満足度を高めてきました。また、バルブコントロール装置の保守部門である工事部門の充実が業界構造に適合した経営方針であり、保守部門を維持しながら、今後のバルブコントロール装置のメンテナンスフリー化の動向を見据えた対応を推進する方針であります。

以上のように取締役勝村哲は、当社を取り巻く経営環境を直視し、柔軟に対応しながら、収益システムの構築、新技術の導入など企業価値の向上に積極的に取り組んでおり、解任理由は正当性が無く、事業展開の遅延が生じることになるため、会社として勝村哲の解任に反対します。

(2)第2号議案 取締役加賀田伊作解任に反対します。

加賀田伊作は、昭和 56 年に当社へ入社、製造部門で生産管理業務に従事し、資材部門において国内外からの資材調達業務及び在庫管理に通算 10 年従事した後、営業部門にて、主に海外営業として海外顧客への製品販売を担当、平成 24 年より横浜支店長、昨年 6 月の定時株主総会にて取締役に選任され、営業部長に就任しております。

現在、製品を熟知した営業部長として当社製品の国内需要喚起に向けた営業活動を指揮する一方、韓国・台湾・中国を中心とした電力プロジェクト、及び中東での石油化学プロジェクトといった、新たな海外市場の拡大に向けた営業活動を積極的に行っております。

また、長年の海外営業経験と渉外能力を生かし技術提携先との技術提携契約の締結、アジア地域における合弁事業の展開、海外調達によるコストダウンといった営業の枠を越えた仕事も積極的に行っております。その結果、国内の顧客のみならず、海外の取引先からも信頼され、当社の企業価値向上に大きく寄与しております。

さらに工場勤務の経験があることから調達・生産体制を熟知しており、高い顧客満足度を達成するためお客様の求める製品供給を、会社全体でどのように実現するかを営業部門より発信できる人物であります。

以上のように解任理由には全く根拠がなく、営業部長として多岐に渡る課題に取り組んでいるところであり、解任による業務執行の停滞は大きな損失となるため、会社として加賀田伊作の解任に反対します。

(3)第3号議案 取締役3名(寺田治夫氏、丸本桂三氏、林秀樹氏)選任に反対します。

当社は、寺田治夫氏及び丸本桂三氏が株主であることを十分認識しています。そこで、平成26年10月1日付「社外取締役の選任について」で開示いたしましたとおり、寺田治夫氏及び丸本桂三氏を、社外取締役候補者とし、臨時株主総会を開催することを決定すると共に、顧問への就任を受け入れました。

両氏の活動は、これまでの知見、経験に基づいた問題点の検討に関しては理解できますが、株式会社として必要な機関決定を経ず、取締役会より上位意思決定機関の設置や、複数の金融機関との交渉について必要な委任を受けず実施しようとした。また、一般的な条件であるにも関わらずコスト高と判断し、取引銀行やリース会社との取引条件の変更といった関係を損ねるような行為がありました。

止む無く当社は、企業価値を棄損することなく、共に会社を良くしていこうという立場にたちかえることとし、当社取締役会と両候補者との間で、コーポレートガバナンス体制について意見調整を行うため、平成26年10月20日付で両氏の顧問解職および臨時株主総会の開催中止を決定しました。

当社と両氏は会社をより発展させたいという思いは同じであり、経営方針や手法については話し合いで解決できるとの考えに立ち、両氏に対して話し合いによる意見調整を呼びかけてまいりました。しかし両氏は、「改革に消極的だ」と主張し、更に株式の買い増しを進め、株主総会で過半数を得ることにより支配しようとしております。

当社は、株主の権利を否定するものではありませんが、今回の臨時株主総会の議案を付議する合理的な理由は不確かであり、両氏は取締役就任後の経営方針を示しておりません。その後の状況がわからなければ、当社製品をお使い頂いているお客様やお取引先、当社製品の部品製造等をお願いしている仕入先に不安を与え、当社に対して不信感を抱く事態に陥り、企業価値に悪影響を及ぼすのではないかと懸念しています。当社は多くの優良企業とお取引をさせて頂いており、企業価値向上に総合的に寄与して頂いております。

当社は、すべてのステークホルダーが運命共同体であると考えており、有力代理店1社のみが満たされるような営業方針を採らず、創業以来、多くの代理店と長年良好な関係を築き共に発展して参りました。当社は、電力会社をはじめとする国内生活基盤を支えるお客様に、重要な機器やサービスを納入する公器であると考えています。短期的な利益に囚われず、製品の安定供給とそれを支える安定経営こそが、公器に求められる最も重要なことと考えています。上場会社としてコンプライアンスを重視した開かれた経営をしており、金融取引においても一般的な条件によっております。

両氏の主張する業界トップを狙うためには具体的な方策が必要ですが、その提示はありません。

以上のように、このような価値観を持つ取締役候補者は、当社が創業以来築き上げた企業価値を著しく毀損するものであり、到底受け入れられるものではありません。よって、3名の選任に強く反対致します。

3. 今後の見通し

当社といたしましては、今後起こりうる問題については、弁護士と相談の上で、適切に対処してまいります。

今回の事態は大変残念であり、取引先をはじめステークホルダーの皆様にご心配をお掛けしていることについて深くお詫び致します。

以 上

平成27年2月4日

株 主 各 位

神奈川県藤沢市桐原町7番地

日本ギア工業株式会社

(証券コード 6356)

株主 株式会社成和

同 寺 田 治 夫

同 丸 本 桂 三

臨時株主総会招集のご通知

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、横浜地方裁判所の平成26年12月25日付臨時株主総会招集許可決定に基づき、下記のとおり日本ギア工業株式会社の臨時株主総会を開催させていただきますので、ご通知申し上げます。

なお、当日ご出席願えない場合は、書面により議決権を行使することができますので、お手数ですが、後記の株主総会参考書類をご検討のうえ、同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示いただき、平成27年2月18日（水曜日）午後6時までにご到着するようご返送くださいますようお願い申し上げます。

敬 具

記

- 1 日 時 平成27年2月19日（木曜日）午前10時00分
- 2 場 所 神奈川県藤沢市藤沢607-1
藤沢商工会館ミナパーク502会議室
(会社外ですのでご注意ください。本招集通知末尾の「会場ご案内図」をご参照ください。)
- 3 目的事項
決議事項
第1号議案 取締役勝村 哲解任の件
第2号議案 取締役加賀田伊作解任の件
第3号議案 取締役3名選任の件

以 上

当日ご出席の際は、お手数ですが同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。

株主総会参考書類に修正が生じた場合は、インターネット上の日本ギア工業株式会社のウェブサイト (<http://www.nippon-gear.jp/>) に掲載させていただきます。

株主総会参考書類

議案及び参考事項

第1号議案 取締役勝村 哲解任の件

解任の理由

取締役勝村 哲は、代表取締役として、日本ギア工業株式会社を巡る厳しい経営環境を直視せず、顕著な業績低迷状況にもかかわらず経営改革を先延ばしし、また、今後の経営に関する中長期的な具体的施策等の視点も欠落しているためであります。

第2号議案 取締役加賀田伊作解任の件

解任の理由

取締役加賀田伊作は、日本ギア工業株式会社の営業部長兼横浜支店長であるところ、経営状況の認識及び経営改革への熱意に欠け、取締役加賀田伊作の現状の営業方法では、大幅な営業力の強化は期待できないためであります。

第3号議案 取締役3名選任の件

日本ギア工業株式会社の速やかな経営改革への着手及び改革実現のため、解任取締役の後任者として取締役3名の選任をお願いするものであります。

取締役候補者は、次のとおりであります。

候補者 番号	ふりがな 氏名 (生年月日)	略歴、日本ギア工業(株)における地位及び担当 (重要な兼職の状況)	所有する日 本ギア工業 (株)の株式数
1 (※)	てらだ はるお 寺田 治夫 (昭和30年12月30日生)	昭和55年4月 東京芝浦電気株式会社（現株式会社東芝）入社 昭和59年4月 成和工業株式会社（現株式会社成和）入社 昭和59年11月 同社専務取締役 平成8年8月 株式会社成和 代表取締役社長 現在に至る 【重要な兼職の状況】 株式会社成和 代表取締役社長	53,150株

候補者 番号	氏名 (生年月日)	略歴、日本ギア工業㈱における地位及び担当 (重要な兼職の状況)	所有する日本ギア工業 ㈱の株式数
2 (※)	丸本 桂三 (昭和37年9月11日生)	昭和62年6月 東京大学医学部付属病院勤務 平成元年2月 平成眼科医院開業 平成7年3月 医療法人社団三一会理事長 現在に至る 平成17年1月 株式会社ストレッチ 代表取締役 現在に至る 【重要な兼職の状況】 株式会社ストレッチ 代表取締役 医療法人社団三一会 理事長	1,455,000株
3 (※)	林 秀樹 (昭和43年3月9日生)	平成8年2月 東京税理士会登録 林秀樹税理士事務所開業 現在に至る 【重要な兼職の状況】 株式会社キュビズム 代表取締役	1,000株

- (注) 1. ※印は、新任の取締役候補者であります。
2. 寺田治夫氏は、日本ギア工業㈱の筆頭株主かつ特定関係事業者である株式会社成和の代表取締役社長であり、同社は日本ギア工業㈱の株式の議決権39.45%を所有しております。同社は日本ギア工業㈱のアクチュエータ製品他の販売代理店のひとつとして平成25年度において341百万円の取引があるとともに、一部製品の販売において競業関係にあります。なお、同氏は特定関係事業者（株式会社成和）の業務執行者の三親等以内の親族であります。
3. 丸本桂三氏及び林 秀樹氏と日本ギア工業㈱との間には、特別の利害関係はありません。

以上

会場ご案内

会 場 神奈川県藤沢市藤沢607-1
藤沢商工会館ミナパーク502会議室
電話 0466-29-3789

交 通 JR藤沢駅から徒歩約3分
小田急藤沢駅から徒歩約4分
江ノ電藤沢駅から徒歩約5分

ご案内図

